

## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社フレアス 上場取引所 東  
コード番号 7062 URL https://fureasu.jp  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)関根 竜哉  
問合せ先責任者 (役職名)財務経理部長 (氏名)関根 真一郎 (TEL)03(6632)9210  
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 -  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	4,215	25.0	80	-	104	342.5	50	-
2023年3月期第3四半期	3,371	6.0	△17	-	23	△90.1	△8	-

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 50百万円(-%) 2023年3月期第3四半期 △8百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	21.61	21.41
2023年3月期第3四半期	△3.63	-

(注) 2023年3月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,365	1,757	32.6
2023年3月期	4,529	1,726	38.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 1,749百万円 2023年3月期 1,723百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	-	0.00	-	10.57	10.57
2024年3月期	-	0.00	-		
2024年3月期(予想)				10.57	10.57

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,767 ~5,978	25.8 ~30.4	113 ~216	663.7 ~-	127 ~230	79.2 ~225.2	57 ~119	90.0 ~277.3	24.30 ~50.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	2,352,600株	2023年3月期	2,352,600株
2024年3月期3Q	65株	2023年3月期	65株
2024年3月期3Q	2,352,535株	2023年3月期3Q	2,347,851株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	1
(1) 経営成績に関する説明	1
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、物価の上昇等の影響を受けつつも、新型コロナウイルス感染症の経済活動に対する制約の解消による個人消費の増加等により、緩やかな回復傾向にありました。しかしながら、物価上昇によるコストの増加など、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する在宅マッサージ業界及び介護業界におきましては、少子高齢化が加速する一方で、医療機関における病床数の減少が見込まれるとともに、政府による地域包括ケアシステムの構築の推進活動と相俟って、在宅療養の重要性がますます高まってきております。

このような状況のもと、当社グループが訪問してサービス提供する対象の一部には介護施設が含まれておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類に変更されたことに伴い、施設への立ち入り制限が減少したため、施術回数が増加しております。当社グループの施設系介護サービスにおいても、サービス利用に対する需要は堅調であり、サービス利用者数は増加傾向にあります。

また、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者、5人に1人が75歳以上の後期高齢者になるという「2025年問題」及び高齢者人口がピークに達するという「2040年問題」の到来が見込まれる環境下において、介護施設等の法人営業を強化することによるサービス利用者のさらなる増大を通じて、超高齢社会における課題解決企業として当社グループが事業を遂行していくことを実現すべく、2023年3月より新規事業であるホスピス事業を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,215,042千円（前年同四半期比25.0%増）、営業利益は80,904千円（前年同四半期営業損失17,727千円）、経常利益は104,150千円（前年同四半期比342.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は50,843千円（前年同四半期親会社株主に帰属する四半期純損失8,524千円）となりました。

#### ① マッサージ直営事業

マッサージ直営事業では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の分類が第5類に引き下げられたことに伴い、閉鎖していた介護施設の再開が進みました。また、サービス休止中に筋麻痺や関節拘縮といった症状が進んでしまった利用者に対して、日常生活動作能力（ADL能力）の向上を目的として、従前よりも高頻度なサービス提供を提案することで、サービス提供回数の増加に取り組んでまいりました。当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス感染症の影響が減少した結果、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は2,666,243千円（前年同四半期比9.7%増）、セグメント利益は778,193千円（前年同四半期比39.0%増）となりました。

#### ② マッサージフランチャイズ事業

マッサージフランチャイズ事業は、2023年2月に当社のフランチャイズ事業がテレビ番組で紹介されたことにより、認知度が向上いたしました。また、新規事業を検討している法人への営業活動を強化したこと等で「フレアス在宅マッサージ」フランチャイズの新規開設数が33件あり、当第3四半期連結累計期間末における加盟店数は312拠点（前年同四半期末比10.6%増）となりました。

また、加盟店からのロイヤリティ収入等についても加盟店の施術件数増加により増加した結果、増収増益となりました。

以上の結果、売上高は662,520千円（前年同四半期比31.6%増）、セグメント利益は163,924千円（前年同四半期比16.1%増）となりました。

#### ③ 施設系介護サービス事業

施設系介護サービス事業に含まれる看護小規模多機能型居宅介護事業においては、2023年12月に看護小規模多機能元橋本の開設により、拠点数が7拠点となりました。既存施設においては、地域の医療機関等への営業活動

の強化等により、登録利用者数が増加し、売上高が増加いたしました。また、ホスピス事業においては、2023年12月にメディカルケアホーム元橋本を開設し、拠点数が3拠点となりました。事業譲受けにより2023年3月にサービスを開始したメディカルケアホーム四日市も順調に稼働しております。一方で、看護小規模多機能型居宅介護事業及びホスピス事業の新規開設のための費用が先行して発生いたしました。

以上の結果、売上高は568,592千円（前年同四半期比463.6%増）、セグメント損失は242,058千円（前年同四半期セグメント損失120,393千円）となりました。

#### ④その他の事業

その他の事業セグメントに含まれる主な事業である訪問看護事業は、地域の医療機関及びケアマネジャーに対する営業の強化及びマッサージ直営事業拠点との共同営業を推進することで、当社グループのサービスの認知活動を推進してまいりました。2023年3月に1拠点を閉鎖したことにより、当第3四半期連結累計期間においては、売上高は減少しましたが、コスト抑制等によりセグメント収支は黒字に転換いたしました。

以上の結果、売上高は317,686千円（前年同四半期比5.4%減）、セグメント利益は16,248千円（前年同四半期セグメント損失4,618千円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、2,990,152千円（前期比9.0%増）となりました。主な内訳は、現金及び預金が837,445千円（前期比14.1%減）、売掛金が1,198,077千円（前期比3.5%増）及び立替金が803,063千円（前期比57.1%増）であります。

また、固定資産は、2,375,675千円（前期比32.9%増）となりました。主な内訳は、有形固定資産が1,265,280千円（前期比93.5%増）、のれんが451,273千円（前期比5.7%減）、契約関連無形資産が217,307千円（前期比7.4%減）及び投資その他の資産が369,924千円（前期比13.1%増）であります。

この結果、総資産は5,365,828千円（前期比18.5%増）となりました。

### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は1,134,577千円（前期比31.2%増）となりました。主な内訳は、短期借入金100,000千円を新たに調達したことや1年内返済予定の長期借入金458,160千円（前期比13.2%増）及びその他流動負債495,188千円（前期比43.7%増）によるものであります。

また、固定負債は2,473,408千円（前期比27.6%増）となりました。主な内訳は、長期借入金1,014,910千円（前期比10.3%減）、リース債務が1,172,703千円（前期比118.6%増）及びその他固定負債が175,480千円（前期比10.4%増）であります。

この結果、負債合計は3,607,986千円（前期比28.7%増）となりました。

### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,757,842千円（前期比1.8%増）となりました。主な内訳は、利益剰余金が1,168,577千円（前期比2.3%増）であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年11月7日に公表した見通しの変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	975,263	837,445
売掛金	1,157,777	1,198,077
貯蔵品	11,473	13,500
立替金	511,031	803,063
その他	89,513	140,593
貸倒引当金	△2,325	△2,527
流動資産合計	2,742,733	2,990,152
固定資産		
有形固定資産		
リース資産	487,212	1,079,465
その他(純額)	166,626	185,815
有形固定資産合計	653,838	1,265,280
無形固定資産		
のれん	478,370	451,273
契約関連無形資産	234,615	217,307
その他	93,255	71,889
無形固定資産合計	806,241	740,470
投資その他の資産		
繰延税金資産	160,605	137,776
その他	166,456	232,148
投資その他の資産合計	327,062	369,924
固定資産合計	1,787,142	2,375,675
資産合計	4,529,875	5,365,828
<b>負債の部</b>		
流動負債		
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	404,838	458,160
リース債務	18,884	30,875
未払法人税等	23,592	11,441
賞与引当金	72,783	38,912
その他	344,504	495,188
流動負債合計	864,602	1,134,577
固定負債		
長期借入金	1,131,784	1,014,910
リース債務	536,384	1,172,703
退職給付に係る負債	30,657	34,930
繰延税金負債	81,388	75,384
その他	158,952	175,480
固定負債合計	1,939,167	2,473,408
負債合計	2,803,770	3,607,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	295,722	295,722
資本剰余金	285,722	285,722
利益剰余金	1,142,600	1,168,577
自己株式	△70	△70
株主資本合計	1,723,975	1,749,952
新株予約権	2,130	7,889
純資産合計	1,726,105	1,757,842
負債純資産合計	4,529,875	5,365,828

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	3,371,756	4,215,042
売上原価	1,728,502	2,200,136
売上総利益	1,643,253	2,014,906
販売費及び一般管理費	1,660,981	1,934,001
営業利益又は営業損失(△)	△17,727	80,904
営業外収益		
助成金収入	31,917	33,850
違約金収入	13,366	10,831
その他	5,191	7,134
営業外収益合計	50,475	51,816
営業外費用		
支払利息	8,009	25,628
その他	1,201	2,942
営業外費用合計	9,210	28,570
経常利益	23,536	104,150
特別利益		
補助金収入	—	23,842
特別利益合計	—	23,842
特別損失		
固定資産圧縮損	—	23,842
特別損失合計	—	23,842
税金等調整前四半期純利益	23,536	104,150
法人税、住民税及び事業税	22,862	33,762
法人税等調整額	9,198	19,545
法人税等合計	32,061	53,307
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,524	50,843
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△8,524	50,843



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△8,524	50,843
四半期包括利益	△8,524	50,843
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△8,524	50,843

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2022年6月28日 定時株主総会	普通株式	24,697	10.57	2022年3月31日	2022年6月29日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年6月27日 定時株主総会	普通株式	24,866	10.57	2023年3月31日	2023年6月28日	利益剰余金

## 2. 基準日が当第3四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	施設系介護 サービス	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,431,588	503,348	100,878	3,035,816	335,940	—	3,371,756
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,431,588	503,348	100,878	3,035,816	335,940	—	3,371,756
セグメント利益又は損失 (△)	559,940	141,139	△120,393	580,686	△4,618	△593,796	△17,727

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 財務諸表計 上額 (注)3
	マッサージ 直営	マッサージ フランチャ イズ	施設系介護 サービス	計			
売上高							
外部顧客への売上高	2,666,243	662,520	568,592	3,897,355	317,686	—	4,215,042
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,666,243	662,520	568,592	3,897,355	317,686	—	4,215,042
セグメント利益又は損失 (△)	778,193	163,924	△242,058	700,059	16,248	△635,403	80,904

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、訪問看護事業等を含んでおりま  
す。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメン  
トに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。